

サモアを知りたいあなたの情報マガジン

# Manuia

Vol.16 2016 March

# 4

■チームサモア■  
メンバー  
紹介!

至福の楽園サモア

# サモアに想いを

協力隊派遣50周年記念

現地ボランティア紹介

Vol.16

2016  
3/31

サモア情報満載

サモアへタイムトリップ

発行：青年海外協力隊サモアOB会

<http://www.fafetai.net/>



一緒にOB会を盛り上げましょう



## ボランティア募集中

LINEグループへの登録！  
いつでもOKです。

当OB会では、サモアに対する想いや経験を共有しながら、共に活動を盛り上げてくれるメンバーを大募集中です！運営メンバーにも高齢化が始まっているので、新しい発想や経験・想いを持った人材が必要になっています。一方で最近では若い隊次の方々が徐々に参加してくれています。え、堅苦しいことは一切なく、サモアらしいゆる〜い感じで運営していますので、サモアに対する想いがある方、是非一緒に参加してみませんか？まずは軽い気持ちで顔を出してもらっただけでも構いません。またOB会の活動に対する積極的なご意見やアイデア、提案などもお待ちしております！【事務局】







チームサモア紹介

OB会からのお知らせ / 番外

### 中村花梨さん (学生)

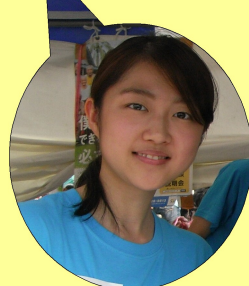
こんにちは、中村花梨です！私は昨年のグローバルフェスタでチームサモアに参加。グローバルフェスタ自体が初めてだったため、ワクワクしました。パンケケも初めてだったけれど、とても美味しい！もっとたくさんの人に食べてほしい！そう思い、精一杯の力で販売しました。買ってくれた時も嬉しかったけど、何より「美味しい」の一言が嬉しかったです。

### 高橋かおりさん (学生)

今年度のグローバルフェスタに初めて参加させて頂きました。最初は、サモアという国がどこにあるのかも知りませんでした。ですが、OBの方々の話や海の写真、この日初めて食べたパンケケに、今ではすっかりサモアファンです(笑) 就活を控えた私ですが、青年海外協力隊の道もいいな、と思う今日この頃です。

### 庭野多香子さん (学生)

私は昨年、サークルの関係でサモア独立記念レセプションのお手伝いをさせて頂きました。そして、それをきっかけにチームサモアの一員に加わらせて頂きました。昨年の10月末に開かれたグローバルフェスタでは、サモアのブースでパンケケを売るお手伝いをさせて頂きました。これからは何かの形で力になればと思っています。



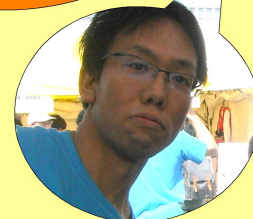
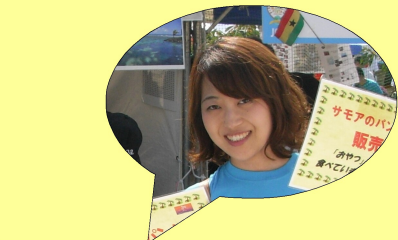
### 志村早織さん (社会人)

国際協力キャリアフェアをきっかけに出逢えた大塚さんに誘われ、チームサモアの一員としてグローバルフェスタ2015に参加しました。ドーナツのようにほんのり甘くとても美味しいパンケケ。是非とも多くの方に食べていただきたい！とみんなで協力できたことが何よりも素晴らしい経験でした。また来年も参加したいです！

サモアブルーのOB会のTシャツを纏い多大なる貢献をしてくれているチームサモアの皆さんをご紹介します。  
**我らチームサモア**  
メンバーは学生や社会人と様々です。共通して言えるのは「サモア」という国を知らなかった方々がほとんどですが、現在は「パンケケ」を含めてサモアのファンになって下さっています。本当に感謝です。

### 内田浩貴さん (学生)

この度大学の関係でボランティアとしてグローバルフェスタでパンケケ販売をお手伝いさせて頂きました内田と申します。正直全くサモアのことを知らなかったのですが、こういった文化の国があるのだと知ることが出来ました。主に生地作りの手伝いをしたのですが以外と力が必要でした。大変貴重な機会ありがとうございました。



### 篠崎愛さん (社会人)

サモアOBの皆様から、サモアの文化、人柄、食、様々なことを学び、世界観を広げる事ができました。また、ボランティアでは国籍、年齢、性別関係なく皆んなが一つになり、パンケケを販売する事ができ、とても楽しかったです。改めて異文化交流の楽しさを味わわせて頂きました。

### 桑原和香奈さん (学生)

こんにちは。桑原和香奈です。昨年JICAで行われた協力隊祭りに参加させて頂き、皆さんの協力隊まつりのお手伝いをさせて頂きました。協力隊祭りはとても有意義な時間を過ごす事ができ、自分の考え方や価値観をより豊かにしてくれます。

### 田村まりさん (学生)

「サモアってどこ!?」そんなところから始まりましたが、グローバルフェスタでのお手伝いはとても楽しく、今やいつかサモアに行きたいと思うようになりました！旅が趣味で、大学では国際関係を学んでいます。アクティブに！ハッピーに！人生を謳歌することを心がけてます！よろしくお願いしま

## OB会紹介

当サモアOB会は、協力隊のOB・OGを中心に、現地サモアでの経験を活かしてサモアと日本の親善に寄与し、会員相互の親睦を図ることを目的で、平成6年(1994年)に設立した組織です。設立当初のサモア関係者のほとんどがJOCVでその数は約200名程度でしたが、その後、シニアボランティアの方々も加わり、現在その数は約550名を超えています。

主な活動は、国際協力のイベントである「グローバルフェスタ」や「協力隊まつり」への参加を通じて一般の方々へのサモアの広報を行います。特に毎年秋に開催される「グローバルフェスタ」は来場者数10万人を超える大きなイベントで、日本風にアレンジしたサモアのパンケケ(ドーナツ)の販売を行いながらサモアのアピールをしています。その味は特に若い女性を虜にしリピートせしめ大人気となっています。またメーリングリスト、ウェブサイトやFacebookでサモアの情報発信をすると共に年度末には「会報」を発行しています。そして最近では派遣隊員の留守宅ご家族に対して会報などをお送りフォローアップをしています。現在は何とLINEで「チームサモア」というグループを立ち上げ交流を図っています。誰でも参加自由ですので是非ご参加下さい。【OB会事務局】

## 平成27年度会計報告

本年度も皆様からの会費のご支援ありがとうございました。本年度、収入の方では会費に加え新たにJICAからの助成金を得ることができました。支出では周年事業の20周年記念誌発行があり、事業費が多くなっていますが、カレンダー作成事業なども含め有効に資金が使えたかと思っております。【昭和63年度3次隊 SE 大塚一雄】

	金額	支出	金額
収入			単位:円
会費・寄付	266,000	通信・運搬費	115,177
事業収入	88,640	事業費	762,514
助成金	461,442	JOCA会費	60,000
小計	816,082	小計	937,691
前年度繰越	902,165	次年度繰越	780,556
合計	1,718,247	合計	1,718,247

※事業費には周年事業が含まれています。

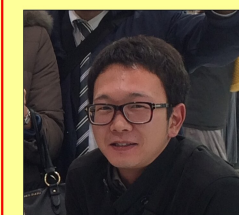
## チームサモアグループ登録募集中



団扇を持ったチームサモアのパンケケ作成の達人をご紹介します。「達人」万歳！！



番外編  
サモア滞在時に隊員紹介で掲載できなかったの！



2016年1月に2年の任期を終え、無事日本に帰国しました。ここで、私の活動を少しばかり紹介させて頂きます。私の配属先はウェスリー・カレッジ、ファレウラに位置するサモア・メソジスト教会教育委員会が運営する私立セカンダリースクールとなっており、自身でJOCV2代目となります。活動内容は主に、①生徒に対して授業をする②同僚教師陣に対してPCのリペア等のレクチャをする③PCルームの維持・管理、またそれらを教師自身が出来るようにルールあるいは手順書等を作成することでした。活動で大変だったことは「サモアタイム」、いわゆるサモア人が時間にルーズなことでした。しかし、イライラはせず、逆に楽しむことでストレスとせず、活動をも円滑に出来たと考えています。

【工藤直人 平成25年度3次隊、PCインストラクタ】

### 高山智絵さん (社会人)

2010年からボランティアスタッフとして関わらせて頂いております。サモアという国を知らずに参加した6年前…今やサモアとパンケケが大好きになりました。サモアを通して国際協力という私の知らない世界を知ることができました。イベントを通して新しい出会いがあり、多くの刺激を受け、毎年様々なことを経験させて頂いております。パンケケ販売は、学生時代の文化祭の様な雰囲気。私にとっては只々、楽しく過ごせる時間であります。人と人とが純粋につながれる場所、OBの皆様のおかげでHappyな心。尊敬し感謝しております。





# 老若男女が集う壮行会



OB会窓口担当の新隊員



既に出来上がった新隊員



2次会真っ只中



## 「パシフィックフェスタ2015」

5月22日、アーク森ビルカラヤン広場で行われたパシフィックフェスタ2015に行ってきました。21日～24日までの4日間のイベントで、2日目にステージでサモアを紹介するコーナーがあり、今回私が選ばれたのでステージで話してきました。いわきから来た女性司会者のベティさんとのトークショーみたいな感じで行われました。さすがはプロの司会者なので、うまく会話をはずませてくれて、話下手な私を助けてくれました。話の内容としては、サモアの学校の様子、海や山や自然がきれいであること、バスが混んでくると他人のヒザの上に座ること、など。聴衆の方々には少しでもサモアことを知って興味を持ってもらえたと思います。トークショーの後は、サモアダンスチームのダンスを鑑賞したり、太平洋諸国の各国ブースを巡ったりして大変楽しむことができました。次回も是非来たいなあ。

【清水幹雄（平成6年度3次隊 数学教師）】

「平成27年度1次隊 壮行会」  
マロ。7月8日、H27年度1次隊の壮行会が新宿で開催されました。明日に控えた旅立ちの日を心待ちにしている新隊員の皆さん。まだ見ぬサモアの話に熱心に耳を傾けていました。その後さらに盛り上がり2次会も決行！楽しい宴となりました。帰国直後の隊員も参加されていますが肌の色の違いは一目瞭然！きっと新隊員も真っ黒になって2年後帰ってきてくれるでしょう。2年後が楽しみですね！新隊員の皆さん、活動頑張ってください！



ステージ上でサモアの紹介をするOB

# 歓迎会・忘年会



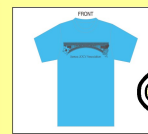
## 「ヒデさん歓迎会・忘年会」

昨年末12月28日、サモアのお母さん、ヒデさんを囲んで忘年会がありました。ヒデさんは、2010年にサモアから息子さんのいらっしゃるニュージーランドに移住されましたが、それまでの間、私たち協力隊をはじめ、サモアに来る日本人全員がお世話になった方じゃないかな、と思います！サモアでお見送りして以来でしたが、みんなをニコニコと見守ってくれたお母さんのままでした。さすがヒデさんを囲んでの忘年会ということで、沢山の先輩隊員の方々も参加され、何十年(?)前の写真を持ってこられてた方や、サモアの野菜作りの基礎を築いた野菜隊員の方にも出会えました！それから、サモアダンスを見てから最近サモアにはまったという方もいらしてましたよ！他にも新たな出会い、お久しぶりの先輩、隊員の仲間にも会えて、マヌイヤ～な忘年会でした。

【尾上保子（平成21年1次隊 環境教育）】



昔話に花が咲くOB達



OB会Tシャツ

## 「平成27年度3次隊壮行会」

平成28年2月3日、新宿にて平成27年3次隊の皆さんの壮行会が行われました。今回ご参加されたのは、今井均さん（職種：船舶機関）、中村行雄さん（職種：獣医衛生）、宮崎博さん（職種：障害児・者支援）の御三方です。私事ではありますが、先月1月に帰国致しまして、サモアOBの中では一番新鮮なサモアの情報を持っている自信を持っており、今回の壮行会ではその知識を少しばかりではありますがご提供できたのではないかと感じております。御三方の意気込みをお聞きしているうちに、私自身もまたサモアへ行きたい！という想いに駆られました。健康にはお気をつけて2年間を楽しんで来て頂きたいと考えています。そして、また日本でお会い出来ることを楽しみにしております。

【工藤 直人（平成25年3次隊 PCインストラクター）】



# 平成27年度3次隊壮行会





# 新サモア大使赴任



新大使との集合写真（中央：大使 左男性：ご主人）



著者（右）とOG・OG



恒例となったパフォーマンス

## 「第53回サモア独立レセプション」

6月12日（金）恒例のサモア独立記念日パーティーが、都内のホテルグランドパレスで開催されました。今回は第53回と、ちょっと半端な回数ですが大使が交代された直後ということで約200名の参加を得て、従来のパーティーとはちょっと違った雰囲気がありました。

新任のFaalavaau Perina J. Sila-Tualaulelei氏（通称シラ大使）は、サモアの名門家のご出身でサモアのほかオーストラリア、ニュージーランドの大学を卒業された後、外務省に入省されたエリートだそうで、とても美しく気さくな方です。アトラクションはいつもの在日サモア人メンバーによるサモアダンスが披露され、大変な盛り上がりでした。

ゲストには大洋州近隣諸国の大使や経済産業省副大臣代理の秘書官はじめサモア友好議員連盟の代議士と、サモア出身の元力士小錦関もお見かけしました。JOCVサモアOB会のメンバーも多く出席され、あっという間の2時間半でした。

【青木和一（平成18年4次隊SV 医療機器）】

# 帰国隊員歓迎会



新旧隊員がエール交換

# 新旧絆がっちり！

## 「平成26年度1次隊歓迎会」

2年前にサモアに送り出した若人たちが先日帰国しました。出発前の不安な顔と打って変わり、自信に満ち溢れた満面の笑みを湛えていました。現地での活動が充実したのを感じ取れます。今後の活躍に期待したいと思います。また一方4月末にサモアに赴任予定の新隊員の方が参加してくれました。写真にあるとおり新旧隊員によりエールが交わされました。新隊員にも健康に気をつけ2年間頑張ってください！

【大塚 一雄（昭和63年1次隊 SE）】



宮下 妙子  
平成27年度1次隊 食品衛生  
保健省水質課

シニアボランティアの宮下妙子です。平成27年度1次隊の女マタイと呼ばれています。保健省で、飲み水の水質管理をしています。サモアの水道は、アピア市内は緩速濾過方式、地方は急速濾過方式で処理しています。この他に地下水を汲み上げている所、溪流の水を無処理で引いている所等様々です。私は、溪流の水を引っ張っただけなので細菌類が検出される村落の水質を心配しています。ポンプに使う電気が高く地下水に切り替えられないとのこと。確かに電気代は高い国ですが、それよりも、土壌の浸透力が高いので、あまり地下に水が溜まらないのかもしれない。私としては、もう少し雨水の利用を考えた方がいいのではと思っています。Manuia Juku.

現地ボランティア紹介（平成27年度1次隊）

増崎 優  
平成27年度1次隊 小学校教育  
タカ小学校

入場料5タラ、ココナツの皮を飛ばして遊ぶとさらに20タラ！ブローホールで有名なサバイ島のタカが私の任地です。ここでは断水は当たり前。やかん一杯の水でシャワーや簡単な洗濯までできる技術が身につきます。手入れのされていない本場の自然がここにあります。サモア人は、陽気でマナーイア人が多いです。特に、我々日本人には、敬意と友好の精神で接してくれます。サモア人との交流を通して、これまで先輩方が積み重ねてきたものの偉大さを感じます。サモアの子とも達は勉強ができていてもなくても、みんなたくましく打たれ強いんです。そんな子とも達が楽しく賢くなるように！それが私の使命です。



萩尾 圭  
平成27年度1次隊 小学校教育  
フアカリイ小学校

サモアに来て早くも半年が経ちました。サモアは最高気温32度、最低気温26度ですが湿度が高く何回もシャワーを浴びたくなるほど蒸し暑い雨季の真っ只中です。さて、今回は自分がサモアで生活した印象について書きまします。サモア人は、大らかで、誰でも気軽に声を掛けてくれ、とても優しいです。大きいですが、心も体も。彼らは何か食べていると、必ず「kai ai」と自分にも食べ物分け与えてくれます。ある朝食にはサンドイッチ6つ食べましたし、ある昼食にはパン半斤を食べました。サモア人の体型が作られていく理由を身をもって感じる毎日です。食べ物の話で終わってしまいましたが、ノンストレスとても素敵な国です。マナーイア、サモア！



町田 溪谷  
平成27年度1次隊 理学療法士  
Loto Taumafai Society

Maloi!! Samoa! 来て半年がたち、クリスマスや新年を迎えました。常夏Samoaはあまり美感がありませんでした。笑 でもValimaは年中美味しいです。さて私の活動先は大きく分けて特別支援学校UCBR(Community Based Rehabilitation)課に分かれ、私はOBR課のスタッフと共に村を回り、障害児のリハビリテーションに関わっています。そして長年かけて造っていたらしい、新校舎とオフィスが11月に完成しました。笑 公私ともに突っ込みどころが多いSamoaですが、楽しく過ごせています。時々ライラします。日々過ぎる時間はゆっくりなSamoaですが、もう活動期間の1/4が終わったかと思うとあっという間でした。残り期間、公私ともに有意義に過ごせればと思います。



第53回サモア独立レセプション／平成26年度1次隊歓迎会





つい先日、編集後記の執筆をしたと思いきや、あっという間に1年経ってしまいました。月日の経つのが早く感じるのは、歳を重ねたせいでしょうか？ 記念誌発行を機に次のステージへのスタートを切ったOB会は、新たな役員を迎え更なる発展を目指して行きます。これからも皆様のご支援を頂戴できればと思っております。

新井 克芳 昭和63年度1次隊 電話交換機



日本とサモアの「架け橋」をモチーフとしたOB会のTシャツ！あるOGがそのデザインを考えてくれました。とても素敵なお品です。是非このTシャツを着て一緒に活動しましょう。そして現在LINEでサモアのグループがあります。サモアの情報交換をしましょう。登録待っています。

大塚 一雄 昭和63年度3次隊 SE



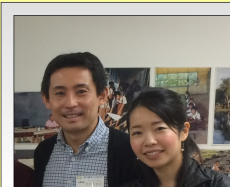
昨年度は20周年記念、サモアと日本の関係は勿論のこと、OB会が微力ながら隊員の世代間を結ぶ架け橋となっていることを実感できた。またこれをきっかけに後進のOBたちが会の運営に興味を示してくれたことも大いに嬉しいです。

澤井 慶太 平成6年度2次隊 音楽



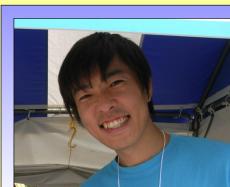
昨年秋に、協力隊訓練所時代の同期を訪ねて南アフリカに行ってきました。20年も前の仲間と地球の裏側で会えるとは、感慨深いものがあります。昨年は駒ヶ根同期の20周年記念の会もありました。同期の仲間大切にしたいですね。

清水 幹雄・平成6年3次隊 数学教師



昨年度も各種イベントでのサモアPRやカレンダー制作などに携わっていただきました。来年の話をするにはまだ早いかもしれませんが、2017年カレンダーでも皆さんからの写真を募集しますので、この写真を使ってほしい！というものがあればぜひOB会宛に送ってください。応募写真の中から厳選の上、決めさせていただきます。

木村 竜輔 平成21年度2次隊 理数科教師



こうして一年を振り返ると今年も様々なイベントが行われ、これは過去から現在に至るまでOB会に関わるすべての方々の努力の賜物なんだろうと感慨深くなります。毎年僕自身はグローバルフェスタぐらいしか関わっていませんが、来年度も少しでもOB会を盛り上げられる一員となればと思います。

加藤康宏 平成22年度2次隊 PCインストラクター



サモアから戻ってきて2年半になりますが、昨年のラグビーワールドカップをはじめ、グロフェス等のイベント、Facebookでのサモア人との繋がりなどを通して、いまだサモアを身近に感じられます。来年度もサモアのイベントを楽しみ、より多くの人にサモアを知ってもらえたらと思います。

柳岡 覚 平成22年度3次隊 理数科教師



昨年の夏、2年4ヶ月ぶりにサモアを訪れました。新しい建物ができていたりもしていましたが、のんびりした雰囲気や人々の笑顔はそのままでした。これからも、サモアとの繋がりを持ち続けたいと思いました。

板垣佐和子 平成23年度1次隊 小学校教諭



帰国して早くも半年が過ぎました。毎日があっという間でサモアにいたことが信じられません。この度OB会の役員として加わることになりました。日本のラグビーブームに乗ってサモアの認知度もこれからますます上がるのではないかと期待しているので、それに合わせてOB会も盛り上げていきたいと思っています。

高井 優美 平成25年1次隊 小学校教育

# 今年もやったぜチームサモア



めっちゃ 楽しんで いる メンバーたち



新旧店長勢ぞろい！



新旧OB息もばっちり



チームサモアの女性とOB

**「グローバルフェスタ2015」**

爽やかな秋晴れが続いた10月3日(土)・4日(日)の2日間、お台場にてグローバルフェスタが開催されました。今年は例年と異なり開催地がお台場でしたが、天候にも恵まれ我がサモアOB会ブースは今年も大盛況の元終えることができました。当日はサモアOB会メンバーだけでなく、多くのボランティアの方々にも参加していただきました。土曜日の夜にラグビーワールドカップの日本対サモア戦があったことから、足を止めてくださる方も多かったように思います。今年の大きな目玉は従来のパンケケに加え、抹茶パウダー・ストロベリーパウダー・シュガーパウダーの三色のパウダーを振りかけた新作パンケケでした。そのカラフルでかわいい見た目から、従来のパンケケだけでなく、新作のほうも人気がありました。サモアOB会のパンケケはグローバルフェスタの中でもかなり認知度があるようで、帰り際に大量買いに来てくださるお客様もいらっしゃいました。日中は日差しが強く、暑さの中のパンケケ作りも大変でしたが、参加者一同協力して、無事に売ることができました。ラグビー効果も総じてサモアを多くの方に知ってもらえたように思います。参加者のみなさまお疲れ様でした。！！！！

【高井優美(平成25度1次隊 小学校教育)】



パンケケ作成チーム



今回初参加のチームサモア



超盛り上がるボランティア





# 本当に強くなった日本代表～こぼれ話～

「ラグビーワールドカップ」

南アフリカ戦に歴史的勝利をした日本代表、サモアで活動をしてきた皆さんであればその勝利がどれほどすごいものかはお分かりかと思いますが。そんな日本中が盛り上がりつつある中での第3戦である「サモア戦」、第2戦が本意な負け方をしたこともあり、また決勝リーグに進出するために第3戦のサモア戦を絶対に勝たなければならない状況で日本中がヒートアップしていたこの時期、何と複数のメディアから当OB会にコンタクトがありました。一つは皆さんもご存じの日本テレビ「Zip」で、在日サモア人を紹介して欲しいとの連絡がありました。数ヶ月前に新サモア大使が赴任したこともあり、サモアそして大使館をアピールする良い機会と思い、サモア大使をご紹介しましたが、番組スタッフの度重なるわがままにより、温厚なサモア人を怒らせ（お酒が入ってなくてよかった。笑）、インタビューの話は幻となってしまいました。今頃これがうまく行っていればかなりの宣伝になったと思うので残念です。二つ目は集英社が立ち上げているスポーツ専門のウェブサイトである「Sportiva」です。ここからは現地サモアの食生活やラグビー事情などサモアについて色々話を聞かせて欲しいとの連絡がありました。取材は、グローバルフェスタの2日目でもあり、またサモア戦の翌日。帰国ほやほやのOGが参加していたのでその対応をお願いしました。結局取材協力をしたもののウェブの記事には掲載されませんでした。後で話を聞いたところ日本が負けることを想定してどうしてサモアは強いのかということの記事にされたようです。ちょっと失礼な話です。このままラグビー熱が2019年のワールドカップまでにつながると良いのですが。【OB会事務局】

ラグビーワールドカップ

協力隊まつり

# 懐かしい方々との再会



松井調整員の息子さんと



参加OB・OGです。お疲れ様でした。



現地サモアの業務調整員と

「協力隊まつり2015」

「協力隊まつり2015」は4月11日（土）と12日（日）の2日間で開かれた。場所は今回初の東京・市ヶ谷にあるJCA地球ひろば。元々協力隊40周年記念から始まった協力隊まつり。スタートこそ会場が代々木公園と大々的であったが、その後は元広尾訓練所に場所を移したり、東京駅前に青空市場のようなものをつくらせたりと紆余曲折を経て、最終的に落ち着くべき場所に落ち着いた。

サモアOB会としては実行委員会に提示された条件によりパンケケ販売が叶わず、初日のみ、パネル展示や同日に開かれた募集説明会から流れてきた人たちに対応するのみに留まった。

正直、パンケケが売れないとなっては高いモチベーションを保つ事が難しかったが、そんな中、平成4年度3次隊・音楽の吉田知恵さんが彼女の日本語学校のエジプト人生徒を連れて遊びにいらしたり、数年前に協力隊調整員を務められた松井さんの息子さんが見えたり等、もし参加していなければ会えなかったはずの人たちに会えるのがこのお祭りの醍醐味かつメリットだ。皆さん、今年は4月23日（土）の「協力隊まつり2016」に、どうぞお立ち寄りください。

【澤井 慶太（平成6年2次隊 音楽）】

やっぱり凄いぞ協力隊

「青年海外協力隊発足50周年記念式典」  
 日時：平成27年11月17日  
 会場：パシフィコ横浜 国立大ホール

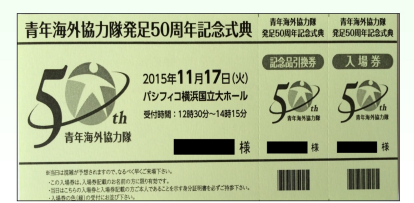
1965年（昭和40年）に始まった青年海外協力隊事業。その発足から50年を迎えた今は88カ国に派遣され隊員数は50,000人に届こうとしている。この記念式典に3カ国（スリランカ、ドミニカ共和国、サモア）への派遣実績を持つ私も招待者の一員として参加した。15時記念式典開始前の12時半にはすごい数の招待者。入口で青のIDカードが配られ入場したが約3,000席の1階席はすでに満席で約1,000席の2階へ誘導された。まわりは各国の民族衣装の帰国隊員があちこちに見られた。帰国隊員の総合司会で第1部は天皇皇后両陛下のご臨席で国歌独唱、式辞、メッセージ等。閉会後天皇陛下は会場の人に笑顔で手を振ってのご退席でした。第2部はオープニング映像に続き南ア・ケニアの民族音楽と鈴木大地スポーツ庁長官を交えてのパネルトーク、映画「クロスロード」（11/28ロードショウ）

の紹介、50周年イメージソング「ひとりひとつ」ジャンルを超えた11組のメンバーと訓練生が歌う。最後は隊歌「若い力の歌」を斉唱して閉会になりました。現在サモア関係者は550名を超える人数になっています。

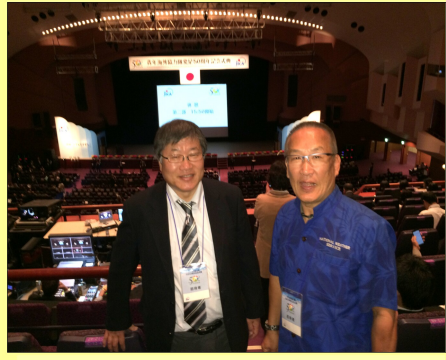
入場券に添付のお土産券を渡し以下の記念品を受け取りました。

- 青年海外協力隊50年の軌跡 持続する情熱（要約版 A4判/180ページ）
- 50周年イメージソング「ひとりひとつ」CDとDVD
- 記念切手と50周年記念マーク入りの手持ちビニールバック

【川野善道（平成19年度SV 気象）】



サモアンスタイルで参加したOB



シニアとJOCV隊員たち



遠方から参加したシニアの隊員

# 祝！会報第16号発行・JOCA受賞

この度、第16号の会報を発行することとなりました。ご協力頂きました方ありがとうございました。本年度は周年事業の一つである「20周年記念誌」も無事に発行でき、ひとつ肩の荷が下りました。そして今年新たな10年に向かってのスタートの年となり、活動には若い方々が徐々に参加して下さるようになり、新たなスタートとしては将来に期待が持てます。更なる飛躍のため特に若い方のご参加をお待ちしています。また御報告ですが、当OB会は協力隊50周年記念の関係でJOCAより表彰（写真右）されました。これまでの地道なOB会活動が評価されたものと思います。その影には多くのOB、関係者、そしてチームサモアのボランティアの方々のご支援・ご協力のおかげだと思えます。この表彰を皆さんと分かち合いたいです。これからも日本とサモアの架け橋として役割を担って行きたいと思えます。今後ともご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。【大塚一雄（昭和63年3次隊 SE）】



JOCAより戴いたクリスタルの盾



# イケメンサモア人はモテモテ！

「サモア人留学生送別会」

私、サモアOBでも何でもありませんが、ことある事にOB会に接触を図り、この夏開催されたサモア人留学生送別会への潜入を果たしたのであります。ある事が切っ掛けでサモアに興味を持ち、勢いで参加表明をしましたが、実際行ってみると、留学先の学生さんや協力隊関係など、留学生を含めサモアのために尽力してこられた方々ばかり。只の興味と勢いで参加してしまった事にこの時点で後悔気味。しかも隣は留学生(女性)。何話しゃ良いんだ？てか、私英語話せないじゃん！横をチラ見するも表情が読めない…。エライとこ来ちまった。このまま時間が過ぎるのを待つか…。と書いていたのですが、話の流れでファイヤーナイフダンスに興味があるような事をボロッと溢した所、凄いいい付いてくれました。もう一方の留学生(男性)がファイヤーナイフの名手である事、興味があるのなら彼に何でも聞けば良い等教えてくれました。ちょっと嬉しそうでした。誰でも自国の文化に興味を持ってもらえるのって嬉しいですね。お聞き間近の事だったので短時間でしたが、私にとっては何の意味も出来事でした。やっぱり参加して良かったと思いました。惜しむらくは私の英語力があまりにも残念なこと。克服して、次にこのような機会があればもっと攻めて(?) 行きたいと思います。

【河野 志保子(チームサモア)】



お決まりの全員集合



すっかり日本人に馴染んだサモア人



モテモテだったイケメンサモア人

# パンケケがスイーツに大変身！

本年度のグロフェスでは従来のプレーンパンケケに加え、3色のパンケケが登場しました。これはパンケケ中興の祖、藤田OBが今回のグロフェスのために開発してくれたものです。見るからに美味しそうでしょ。白は粉砂糖、そしてピンクとモスグリーンは何でしょうか。想像してみてください。そして試作の段階ではチョコをまぶしたものや材料に干しブドウを混ぜたものなど検討しましたが、経費等の関係で幻と終わりました。残念！



店で売ってるスイーツのようです。



グロフェスで実際に販売したパンケケ



江口 吹樹  
平成27年度2次隊 柔道  
サモア柔道協会

サモアにこの国から、水が出るシャワーがある。夜街を出歩いたとしても襲われる危険が少ない。海がものすごく綺麗。人が温厚で笑顔絶えない。美味しい食事。日本のお米や調味料もある。日本人が羨ましい国です。日本の一日か二時間か三時間かサモアはその倍の時間を過ごして感じる感じが、サモアにいても自分で入りましたが、そんな私の活動は柔道の先生として基礎知識や技術を教えるから柔道の普及を全力を尽くしています。練習を見ていく中で大量の課題を習い、毎日プロのように練習しています。課題があるから練習して日々精進していきます。

山本 章造  
平成27年度2次隊 養殖  
農業水産省水産局

私がJICAにお世話になるのは3度目です。20数年前のトンガ、4年前のフィリピン、そして今回のサモアです。要請はボラ養殖技術の導入です。なんとこの技術は20数年前のトンガのプロジェクトと全く同じなのです。その時は現役のため短期で帰国せざるを得ず、帰国後も中途半端の仕事を心残りでしたが、全同養殖が今回、隣国サモアであったのです。これは何かの因縁、運命的な巡り合わせを感じて、アプソントしたわけです。

そして今、南海の楽園サモアに来て2ヶ月余、今のところトンガと比べると楽でマンツーマンレベル程度です。サモア語は少々参りますが、本能的にフレンドリーで親切なサモア人(男子)がほとんどです。



真崎 邦彦  
平成27年度2次隊 養殖  
農業水産省水産局

サモアに来るのが月が過ぎたという感じが、職場に入ったのが1日下になったので、直ぐにフィリス・年末のご挨拶で、未だ仕事のご挨拶がやっておきません。そんな中で、私の活動「海」の下を始めるJICAの種苗Sanman Aquacultureの「たけ」まサモアの自然を知り人や文化を理解しよう。機会や暇を見つけては、お魚を食って、お魚を食って行っています。おかげで、サモアの雄大な自然に、お魚に触れることが出来、そんな中で育まれたサモア人のおおらかな、それでいて抜けない個性も出会えた感じがしています。これは、何処の海や自然を使ってもこんな養殖をするのが、サモアを意味する言葉なのかな。そんな様子を毎日撮影しています。

中島 康仁  
平成27年度2次隊 臨床検査  
サモア国立病院

この方は、1月末のサモア国立病院の臨床検査室のお手伝いをさせていただき、約2ヶ月が過ぎました。サモアの人にはみんな明るく笑顔で迎えてくれます。でも彼の体格の大きさと指導が厳格です。私は医師から本格的な指導を受けており、そのため野菜中心の食生活を心がけています。これが野菜の価格が高くて、野菜が食べられず、別な意味で痩せていきそうな日々を過ごしています。臨床検査室の仕事は、日本とサモアの違いに戸惑って日々を過ごして、まだまだ慣れません。しかし、彼に教えるつもりながら、少しも彼が役に立ってほしいと思っています。これから以上サモアの生活を楽しくしていきたいと思っています。



現地ボランティア紹介(平成27年度2次隊)

サモア人留学生送別会 / 進化したパンケケ



# サモアで活躍するボランティア！

現地ボランティア紹介（平成26年度3次隊）



横山 祐輔  
平成26年度3次隊 体育  
レイフィフィカレッジ

サモアに派遣され、1年が経ちました。私はサモアでは初めてのJOCVの体育隊員ということもあり、試行錯誤や苦労の連続です。レイフィフィカレッジで体育授業を行うほか、サモアの体育教育の将来を見越して、様々な学校に出張授業に行っています。気候やサモア人の性格面から体育授業を確立させることは簡単ではありませんが、たくさん先生や生徒たちと出会い、彼らの笑顔を支えられています。生活面では地域の人々やファミリーと積極的にコミュニケーションを図っています。日本人は近年、地域や家族との人間関係が希薄化しつつあるので学ぶべきところであると思います。残りの一年、サモアの人々に支えられながら楽しく活動、生活していきます。

篠崎 愛弓  
平成26年度3次隊 体育  
ハイマウガ中高等学校

26年度3次隊体育隊員の篠崎です。サモアはみなさんご存知の通りの肥満大国。肥満率は55.5%と世界第四位。大きな人たちが一緒に体を動かそうと奮闘する日々です。そして、サモアといえば「ラグビー」。W杯ではサモアと日本が対戦しました。試合時間が夜中だったにも関わらず多くの人がテレビ観戦をしていました。結果は日本の勝利で、複雑な気持ちで学校に行くこと多くの同僚や、生徒から「日本のチームプレーはすごい。」と大絶賛され、とてもうれしかったのを覚えています。私も独りよがりにならず、現地の人々とのチームプレーを大切にしていきたいと思っています。



高橋 航太郎  
平成26年度3次隊 PCイン  
ストラクター  
Falealili College

不思議な縁でたどり着いた常夏の国サモア。ここでの生活も早いもので一年が過ぎてしまいました。家族の温かさや分かち合う喜びを、日々実感しています。着任当初は自分の技術や知識のすべてを伝えたいと考えていましたが、早々にカウンタートパートが転動してしまっただけから、日々の授業に力を注ぐ毎日です。生徒たちのコンピュータへの関心は高く、前向きに取り組む生徒がほとんどですが、学習内容が暗記に偏っており、実用には程遠い状態です。少しでもコンピュータに触れる時間を多くして、「習うより慣れろ」の学習スタイルを目指しています。



満留谷 里枝  
平成26年度3次隊 水泳  
サモア水泳連盟

日本と同じ島国でありながら、泳ぐことが出来る人は漁師だけ…と聞かれているサモアで水泳の普及と発展の為に活動をしています。スポーツにおいて忍耐と努力なくして強くなるはずありません。才能ですら、ある一定のレベルを超えるにはそこから先は努力が必要となるでしょう。「継続は力なり」という言葉のとおり、日本人はコツコツと日々積み上げていく事には慣れていますが、やはり国が違えば文化が異なるのは当たり前で、活動を始めると聞かない頃は戸惑いしました。一度練習すると満足し、しばらく欠席するというのが半分以上です。派遣されて一年が経ちますが、残りの一年も腰が重いサモアの人々のお尻を叩きながら活動していきたいと思っています。



長塚 民子  
平成27年度1次隊 理科教育  
Falealili college

ウポル島の南側のカレッジで理科と数学を教えています。学年末テストが終わり、やっと学校の流れや授業の進め方が分かってきたかなというところなんです。数学の基礎的な計算指導や英語での理科指導に毎日試行錯誤、悪戦苦闘しています。サモアに来て約半年経ちますが、混んでいるバスで膝の上に座ることから始まり、朝教会→ランチ→昼寝→夕方再び教会という毎週日曜日の過ごし方、最近ではクーラーボックスに直接たれとぎしりのチキンを用意して行うBBQなど、びっくりすることだらけです。いれはいるほど発見だらけ。サモア奥が深い！新年度からの活動に励むのももちろんですが、サモアの魅力やびっくりをたくさん見つけていきたいです。



長江 宏海  
平成27年度1次隊 理科教育  
Aana No.1 college



みなさんは時計を一日に一回も見ない日がありますか？サモアでは時間への感覚が日本とは対照的です。まず、時計がない。ホームステイ先の家にはもちろん、勤務先の学校にも時計がありません。久しぶりに時計を見たと思ったら止まっていたり、時間がずれていたり。サモア人のつけている腕時計の半分は動いておらずプラスチックと化しています。昔から原始的な生活をしてきたサモア人にとって時間という概念はあまり必要なかったのでしょう。そう思うと、日本人が時間に縛られ過ぎているのではないかと思っています。今更この頃です。そんな視点を与えてくれるのもこの時間の流れるサモアの生活は今日も幸せに満ちています。Falealili @ nvsocial.jp

島野 公秀  
平成27年度1次隊 感染症・エイズ対策  
保健省 (Ministry of Health)

初めまして。昨年7月にサモアの保健省にシニアボランティアとして配属になってから、ほぼ半年が過ぎようとしています。職種は感染症・エイズ対策となっていますが、主にデング熱対策と発生患者のモニタリングをやってきました。一般に蚊が媒介する感染症にはマラリア、日本脳炎、フィリッパ、デング熱、チクソングニア熱などが知られていますが、幸運なことに、サモアにはフィリッパと日本脳炎の患者さんは居りません。しかし2014年の初頭にはチクソングニア熱が大流行し、私が派遣された2015年7月にはデング熱が流行の兆しを示していました。しかし現在では、保健省や住民の皆さんの努力によって蚊の駆除作業が進み、デング熱も沈静化させることができました。



野川 翔子  
平成27年度1次隊 小学校教育  
サマタ・イ・ウタ小学校

サマタ・イ・ウタは、サバイイ島の南西に位置し、サモアの伝統的な生活様式が色濃く残る自然豊かで素朴な村です。校長先生の家にホームステイをしていて、彼らの「シエラ文化」に戸惑いながらも、家族や村人たちに大変良くしてもらい、マイペースに村生活を楽しませてもらっています。小学校では、Year 1-4の算数と理科を教えています。子どもたちの純粋さ、人懐っこさがとても愛しく感じられ、微力ですが、少しでも子どもたちの学習環境の向上の手助けとなればと感じています。あっといふ間の半年、残りの一年半の一日一日を大切に、活動していきたいです。

現地ボランティア紹介（平成27年度1次隊）